

淀川下流域の 舟運

歴史と名所



伝法第二閘門全景

2023年 10月11日(水) — 11月25日(土)

淀川舟運の歴史といえば、江戸期の八軒家～伏見間をつなぐ三十石船が有名ですが、船が河口から川に入るには下流域の安定した港や航路が必要でした。このため、明治期には外国人技師による大阪築港や航路計画、新淀川下流部の閘門建設などが行われました。今回の展示では、淀川下流域の舟運の歴史や名所・石碑について所蔵資料やパネル等で紹介します。

Yodogawa Museum

淀川資料館

開館時間 10:00 ~ 16:00

休館日 祝日、毎月第3土曜日、第3日曜日

☎ (072) 846-7131

〒573-1191 枚方市新町 2-2-13 枚方市駅から徒歩7分

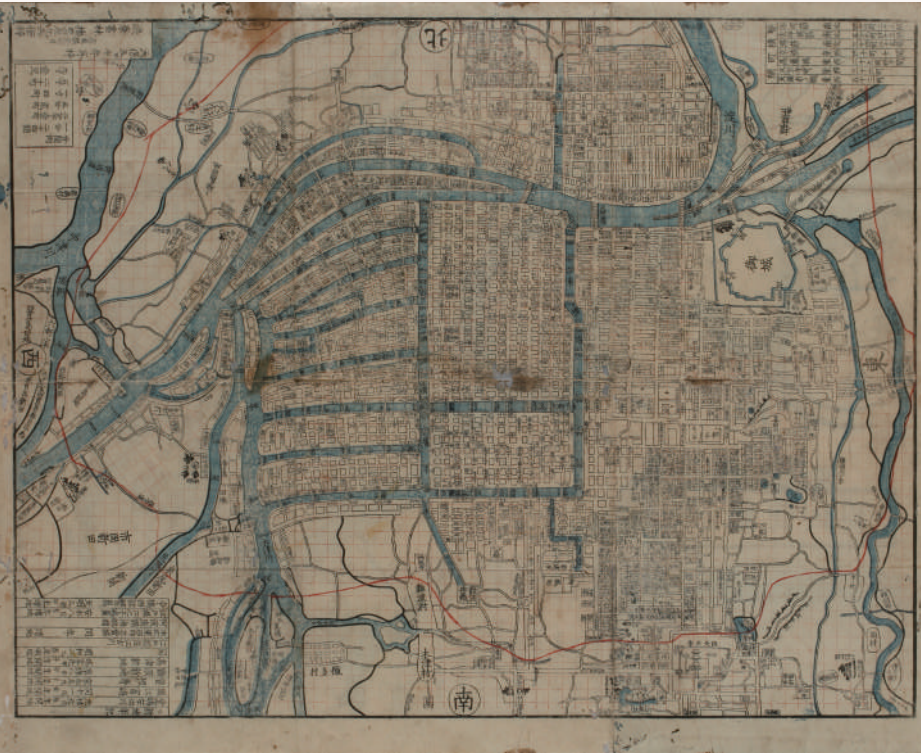
※新型コロナウイルス感染状況によって、開館日・閉館時間が変更になる場合があります。最新の情報はHPをご覧ください。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/shisetu/yodo-museum/index.html>



淀川下流域の 舟運

— 歴史と名所 —
2023年10月11日 ◆ — 11月25日 ◆



増修 大坂指掌図



第十九号 外国人居留地近傍内築図



淀川筋図 自伏見豊後橋至大坂安治川伝法尼崎之川口



毛馬第一閘門工事中の状況



完成した毛馬第二閘門と船溜まり



從天神橋至安治河口實測三千分個之一縮図 則以曲尺式寸為一百間、乃至志間者六尺也



六軒屋第一閘門扉取り替え